

令和5年度入学式 学長告辞

令和5年度九州産業大学入学式に当たり、大学を代表して、新入生の皆さんに「ご入学おめでとう」のお祝いを申し上げます。また、本日は、ご来賓の皆様には、ご多用にも拘らず、ご来席いただき誠に有難うございます。

九州産業大学は、創設者である中村治四郎先生が1960年に「産学一如」を建学の理想として創立され、63年の歴史があり、現在では文理芸の10学部、大学院5研究科からなる総合大学に発展してきました。

学部の構成は、文系の国際文化学部、人間科学部、経済学部、商学部、地域共創学部、理系の理工学部、生命科学部、建築都市工学部と芸術系の芸術学部、造形短期大学部です。

大学院の構成は国際文化研究科、経済・ビジネス研究科、情報科学研究科、工学研究科、芸術研究科です。

本学は、これまで社会の多方面で活躍する14万人の多彩な卒業生を輩出してきました。これは社会的評価の高い九産大生を育成するために、本学の教職員が一体となり、長年取り組んできた「学生一人ひとりの学びを育成する教育と教育支援の成果」だと考えています。

これからの本学を取り巻く環境は少子化、グローバル化、超スマート社会化に、新たに想定不能な自然災害、コロナ禍、地域間の紛争などが加わり、これまでのルールが通用しない時代になりつつあります。画一性から多様性・柔軟性が求められ、みなさん一人ひとりの個の知や創造力で世界や社会を変えることができる時代でもあります。

現在、創立100周年に向けたビジョン「新たな知と地をデザインする大学へ」を実現すべく、2030年に向けて「文理芸が融合したグローバル総合大学へ」をテーマに、新たな活動を展開しています。

具体的には、

1. 全学部の学生が履修する学びの基礎力を身に着ける「KSU 基盤教育」の拡充と、
2. 企業、行政や地域の方々との連携により解決策を現場で探求する毎年100を超える実践型の「KSU プロジェクト型教育」や
3. 次世代のDX化に向けた「AI・データサイエンス」副専攻

などが進行しています。

本年度からは、新たに

- 各学部学科には高度な専門知識やスキルをもつ人材を育てる「アドバンスプログラム」や
- グローバル人材の育成に向けたグローバルフードビジネスプログラム、
- スタンフォード大学 SPICE との連携教育プログラム

などがスタートします。

皆さん自身が学び、そして育ち、力を身に付ける実践型のプログラムを強化してまいります。

これらの特色ある実践的な学びを通して、それぞれの専門分野で創造性溢れる豊かな感性と専門性を育み、次代の産業界をリードし、地域社会へ貢献できる人材の養成を目指して参ります。文理芸が融合する本学の基盤教育と多様な専門教育により、自分で学び育つ精神で、個性豊かな人間力をつけてください。

これから、皆さんは学生生活では、お互いを大切に思い、配慮しあい、夢の実現に向けて一緒に力を合わせて日々の活動に取り組んでください。

結びに、本学は、皆さんの夢や希望をカタチにする大切な一人ひとりの大学生活を、入学から卒業・就職まで、クラス担任を中心に教職員の共創協働により支援して参ります。

皆さんの大学生活が実り豊かなものになることを祈念して、私の告辞といたします。

令和5年4月1日 九州産業大学長 北島己佐吉